

和光市立新倉小学校保護者様

## 令和5年度 和光市立新倉小学校 学力・学習状況調査結果について

今年度実施した、埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年生対象）の本校の結果概要についてお知らせいたします。

今回の検証結果などを基にし、指導改善に努め、更なる学力向上を図ってまいります。

	結果及び概要	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県平均と比較すると、平均正答率が全学年において高い結果が見られた。</li> <li>・ 昨年度実施した本テストとの比較からは、5・6年生の児童の学力の伸びの平均が、5年生で5ポイント、6年生で4ポイントと高い上昇率が見られる。（5・6年生が昨年度の結果と比較して、それぞれ児童の学力の伸びがどれくらいあったかをみている。）</li> <li>・ 4年生においては、県平均比較で「言葉の特徴や使い方」「読むこと」の領域が特に優れている傾向が見られた。反面、「情報の扱い方、我が国の言語文化」の領域において県平均から若干低い傾向が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学力層での学力の伸びが順調であるので、現在の指導方針を継続し、学力向上に努める。</li> <li>・ 具体策には、考えを文章化するために週末日記や授業の終末にその時間の学習の振り返りを書いたり、思いを表現するために日直スピーチを行ったりと、学年の実態に合った指導の工夫や、校内研修で培った授業展開の工夫を積極的に用いて学力の定着と更なる学力向上を図る。</li> <li>・ 「情報の扱い方、我が国の言語文化」に関しては、国語辞典の使い方や漢字に関する内容であるため、生活の中からも定着できるよう教科以外の場面でも活用していくようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語同様、平均正答率が県平均と比較し全学年において高い結果が見られた。</li> <li>・ 昨年度実施した本テストとの比較からの学力の伸びの平均は、5年生で2ポイント、6年生で1ポイントの上昇が見られる。</li> <li>・ 4年においては、全ての領域で県平均の正答率を6%以上上回っている。中でも「数と計算」「図形」「測定」の3領域が県平均の正答率を8～9%以上上回っており、特に優れている傾向が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学力層での学力の伸びが順調であるので、現在の指導方針を継続し、学力向上に努める。</li> <li>・ 各学年で、間違いが多かった問題や苦手傾向があった問題を振り返ったり、似たような問題に取り組みせたりする（4,5年＝データの活用、6年＝変化と関係・データの活用、等）。</li> <li>・ TT指導、個別指導、習熟度別指導等、児童の理解度や単元の特性に応じて、指導法を工夫し一層の理解と定着を図る。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「あいさつや返事」「丁寧な言葉遣い」の観点がよくできており、県平均を上回る項目が多く見られた。</li> <li>・ 県平均と比較し、「整理整頓」「学習準備」「やさしい言葉づかい」の3つの観点がいずれも下回っている。特に「整理整頓」に関しては4・6年生で4ポイント、5年生においては10ポイント以上下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれも生活習慣・学習規律に関わるものであるため、よい行いは称賛し児童にも伝えるなどして家庭・保護者と協力して取り組む必要がある。</li> <li>・ 校内では生徒指導部と連携し、例えば、次の授業準備を済ませてから休み時間にしたり、定期的に机の中やロッカーの整理をしたりする時間を設けるなど、全学年で共通した取り組みを考え、習慣化していけるようにする。</li> </ul>